



◇ 今回は小中学校授業アシスタントの実践報告です！

日 時：2018年度～2019年度

参加者：

2018年度

2018年6月12日(火) 2年生39名…2年生のみ募集

2018年9月27日(金) 1年生24名 2年生18名…1年生募集開始。終日

2018年11月27日(火) 1年生25名 2年生13名…

2019年2月27日(水) 1年生24名2年生8名…小学校を中心に

2019年度

2019年6月11日(火) 1年生48名 2年生25名 3年生11名

…3年生最後。受験に向けて

2019年9月27日(金)または30日(月)

1年生67名 2年生16名 3年生4名…30日は終日

2019年11月26日(火) 1年生37名 2年生7名 3年生2名 …3年生最後

2020年2月27日(木)

1年生26名 2年生7名…新型コロナウイルス対策のため中止

ご協力いただいた学校：

旭ヶ丘中学校、桜ヶ丘中学校、緑ヶ丘中学校、下有知中学校、富野中学校、
小金田中学校、板取川中学校、津保川中学校、武芸川中学校、八幡中学校
美濃中学校、昭和中学校、美濃加茂西中学校、美濃加茂東中学校、双葉中学校
坂祝中学校、川辺中学校、上麻生中学校、黒川中学校、三輪中学校、藍川東中学校、
桜ヶ丘小学校、旭ヶ丘小学校、富岡小学校、金竜小学校、土田小学校、美濃小学校、
倉知小学校、安桜小学校、南ヶ丘小学校、藍見小学校、中有知小学校、太田小学校、
加茂野小学校、坂祝小学校、

◇ SDGs 住みよいまちづくりのために、質の高い公教育を。



関高 SGH 課題研究では、国連の SDGs を基準にし、テーマを設定を行っています。Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の 17 の目標の中には、質の高い公教育の充実や、持続可能なまちづくりも掲げられています。

◇ 地域の小中学校で、子どもたちと交流！

教員のなり手が減っていることを危惧。特にこの中濃地区出身者も少なければ在住者も少ない現状がある。仕事としてはとてもやりがいのある仕事であるし、将来の担い手を育てる教員は必要不可欠である。

「少しでも教職に興味を持ってもらえる取り組みができないか？」と考え、試行錯誤で行った

取り組み。4回の定期テストの最終日の午後を当てました。

でも、どのくらい集まるか不安だったので2年生をターゲットに、「母校に出向いて、授業をしている小中学校の先生のアシスタントをしてみよう」と募集したところ、多数の生徒が名乗りを上げてくれました。

事前に、希望者のいる小中学校の校長先生に連絡を取り、その日の日程で受け入れてもらえるかの確認を取り、各自に連絡して、当日を迎えます。9月の2回目はちょうど「キッズウィークに関する日」が1日あったので、それを利用して学校から遠いところは朝から終日参加させていただけることで思わぬアイデアもいただきました。

当日、小中学校の先生方にも快く受け入れていただき、児童・生徒の皆さんとも楽しく交流でき、教員に何となくなりたいたいと思っていた生徒はさらに思いを強くしてくれたり、教員になるという選択肢を増やしてくれた生徒も多くいました。

終了後はちょっとしたアンケートを皆提出し、次の会の改善に役立てることができました。

この取り組みの結果、2019年度の1年生は280人中の98名が1回以上の参加をした。この中には教員志望でなかった生徒もいたが、教員志望になった生徒も多くいた。ただ、この取り組みで自分が教師に向いていないと判断した生徒もいて、よいキャリア教育にもなった。

また、岐阜大学の岐阜清流入試への受験者も増えた。

まだまだ道半ばであるが、生徒の思いを具現化できるよう微力ながら応援したい。

◇ 授業アシスタントを終えて

- ・関高校でこのような取り組みをしていると知って、入学後に参加したいから入学したという生徒が少なからずいて学校のよいPRになった。
- ・小学校や中学校へ出向くことで関高校の生徒が小中学生のロールモデルになり、地域に良い影響を与えた。
- ・高校より小中学校の方が教員数の不足、質の低下を危惧しており、快く受け入れてもらえたことが何よりの収穫であり、中高連携、小高連携の糸口にもなった。

◇ 参加した生徒の感想

- ・教えるということはすごく難しいことだと思いました。でも中学校の子とたくさん交流ができて楽しかったです。
- ・小学生がとてもかわいくて楽しかったです。数学を教える中で教えることの難しさが分かり、とてもいい経験になりました。ぜひ、また行きたいです。
- ・久しぶりの母校は非常に新鮮に感じられ、自分のことを覚えていてくれる生徒がいてとても嬉しかった。また、知り合いの先生方にも会えて本当にあっという間の楽しい時間でした。
- ・最初は教えられるか不安だったけど、質問にしっかり答えることができたので良かったです。実際自分が先生の立場に立ってみると中学のときは分からなかった先生の苦勞も分かったり、楽しさを知ったりできました。
- ・自分が小学生のときは感じることでできなかった先生方の生徒への温かい愛が、こんなにも存在することを知った。嫌なことは本当に1つもなかった。生徒のみんなも素直だったから私たちもスムーズに対応できた。
- ・先生の凄さが分かりました。私は「分からなかったどうしよう。質問に正しく答えられるかな？」と不安でいっぱいでしたが、先生は迷うことなく丁寧に教えていました。これは自信とたくさんの知識、思いやりがないとできないと思います。だから、自分が先生という立場になってみて、先生って偉大だなって分かりました。自分の母校に行けて良かったし、母校の様子が見れたので嬉しかったし、誇らしかったです。



※平成 30 年度撮影の写真を使用しています。